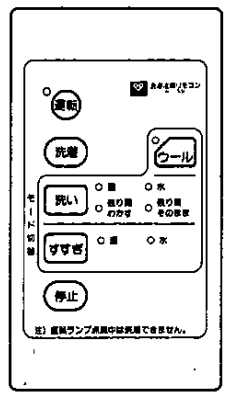
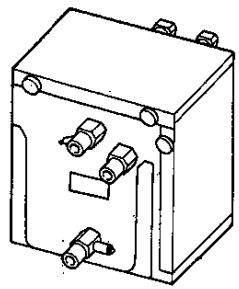
屋外設置型

洗濯注湯システム

36-046型

型式名 TP-RV21





取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	大阪市西区千代崎3－2－95	電話 大阪 06 (586)3200	〒550
南部支社	堺市住吉橋町2－2－19	電話 堺 0722(38)1131	〒590
北部支社	高槻市原の里町39－6	電話 高槻 0726(71)0361	〒569
東部支社	東大阪市稲葉2－3－17	電話 河内 0729(62)1131	〒578
兵庫支社	神戸市中央区東川崎町1－8－2	電話 神戸 078(360)3100	〒650
京都支社	京都市中京区烏丸御池柏屋町358	電話 京都 075(231)8151	〒604
奈良支社	奈良市学園北2－4－1	電話 奈良 0742(44)1111	〒631
和歌山支社	和歌山市本町1－5	電話 和歌山 0734(31)2481	〒640
兵庫西支社	姫路市神屋町4－8	電話 姫路 0792(85)2221	〒670
豊岡支社	豊岡市三坂町6－57	電話 豊岡 0796(23)2221	〒668
湖南支社	草津市追分町荒堀680－1	電話 草津 0775(62)5311	〒525
彦根支社	彦根市大東町12－11	電話 彦根 0749(22)3131	〒522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町3－4	電話 長浜 0749(62)7171	〒526
本社ガスビルサービスセンター	大阪市中央区平野町4－1－2	電話 大阪 06((202)2221	〒541

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

T93 052

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの洗濯注湯システム
をお求めいただき、ありがとうございました。

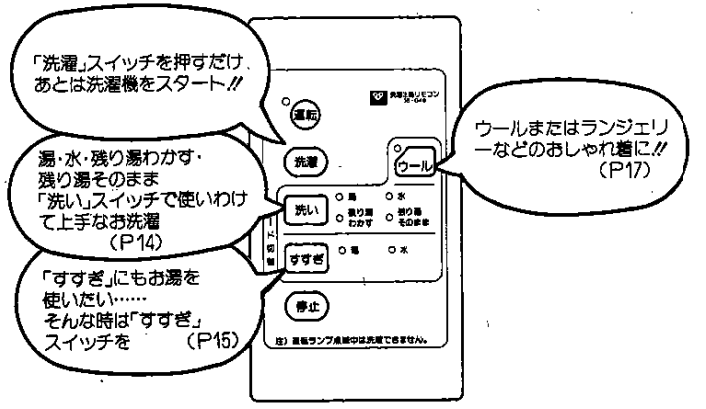
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切
に保管してください。

もくじ

- ごあいさつ・もくじ……1
- 特長・機能の紹介……2
- 必ずお守りください……4
- 各部の名まえと扱いかた……6
- 初めてお使いいただくときに……11
- 使用方法……12
- 点検・お手入れ……26
- 故障かな?と思ったら……28
- 寸法図……30
- 仕様……31
- 保管とアフターサービス……32

特長・機能の紹介

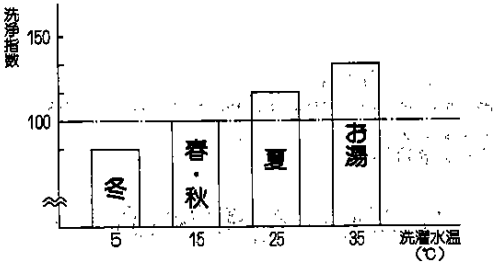
操作かんたん!



ここにもお湯! いいことこんなに。

『お洗濯にもお湯』

1.汚れ落ち抜群



(当社実測値)

2.時間のかかるつけ置洗いは不要

時間のかかるつけ置き洗いも…

水 (15℃)	つけ置き120分	洗い 12分	すすぎ 18分	脱水 6分

お湯ならたったこれだけです!!

お湯 (35℃)	つけ置き不要	洗い 12分	すすぎ 18分	脱水 6分

(当社実測値)

お湯を使いますと、つけ置きが必要なく、そのままお洗濯することができます。

3.洗剤のパワーがいかせるお湯洗濯

- 洗剤が溶けやすい
- 酵素パワーの活性化

4.ウール洗いもかんたん

- 今までやっかいだったウール洗いがお湯を使うことで、ご家庭で簡単にできます。

(17ページの《ウール洗いをする前のご注意》をよく読んでから洗濯をしてください。)

5.省資源

お洗濯に、お風呂の残り湯を使うことが出来るので
水の節約＝省資源になります。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。
また、ガス風呂給湯器の取扱説明書も必ずお読みください。

■使用電源についてのご注意

- この器具はAC100V、60Hz用です。
- 器具本体との電源の接続は、洗濯注湯ユニット付属のケーブル以外は使用しないでください。

■器具設置についてのご注意

- 器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- ガス風呂給湯器の組合せを確認してください。

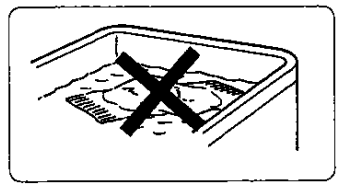
■用途についてのご注意

- 洗濯注湯以外の用途には使用しないでください。

■使用上のご注意

■循環口についてのご注意

- 浴そうの循環口をタオル等でふさぐと循環不良や洗濯注湯不良となりますのでおやめください。



■凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがありますので凍結のおそれのあるときは23ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

- 器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。(有料)
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、11ページ「初めてお使いいただくときに」の項以下の操作を行なってください。

■異常時の処置

- 万一、ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。(28ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって処置を行なってください。)

■水の使用についてのご注意

- 洗濯注湯システム用蛇口は、浴槽の残り湯も使用しますので、上水として飲用や調理等には絶対に使用しないでください。

必ずお守りください

■雷が発生しているときのご注意

- 激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。器具本体の電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。
- 5分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの設定を行ない、表示を確認したのちご使用ください。

■雷が鳴った後、器具が作動しないとき

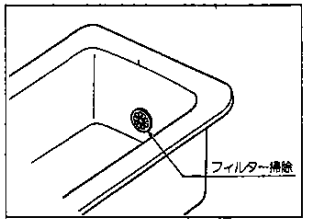
- 落雷の際、お湯が出なくなった場合は器具本体の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを1度コンセントから抜き、再度差しこんでください。それでも使用できないときはお求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

- この器具は停電時には使用できません。
- 停電時は給湯せんを閉めてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定を行ない、表示を確認したのちご使用ください。
  （5分以上の停電のときは再設定が必要です。）

■日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。（詳しくは26ページをごらんください。）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- フィルターはこまめに掃除してください。
  浴そう内の循環口のフィルターがつまってくると浴そうの湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。また洗濯注湯量が少なくなることもあります。



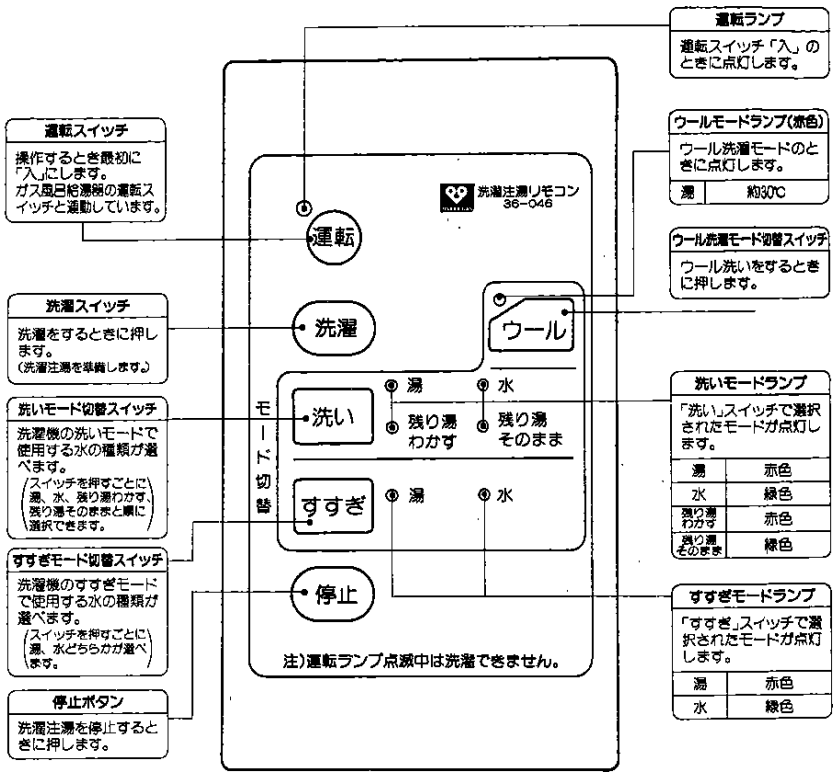
■入浴剤や洗剤についてのご注意

- 入浴剤や洗剤（特に硫黄、酸、アルカリを含んだ商品）は、器具の性能低下および熱交換器等が腐食する原因となる場合がありますので、成分や説明文を確かめてからお使いください。

各部のなまえと扱いかた

■洗濯注湯リモコン(洗濯をするときに使用します。)

※洗濯機の使用方法につきましては、洗濯機の取扱説明書をお読みください。
※洗濯注湯リモコンの取扱い方法は、この取扱説明書12～20ページの使用方法●洗濯注湯の項目をお読みください。

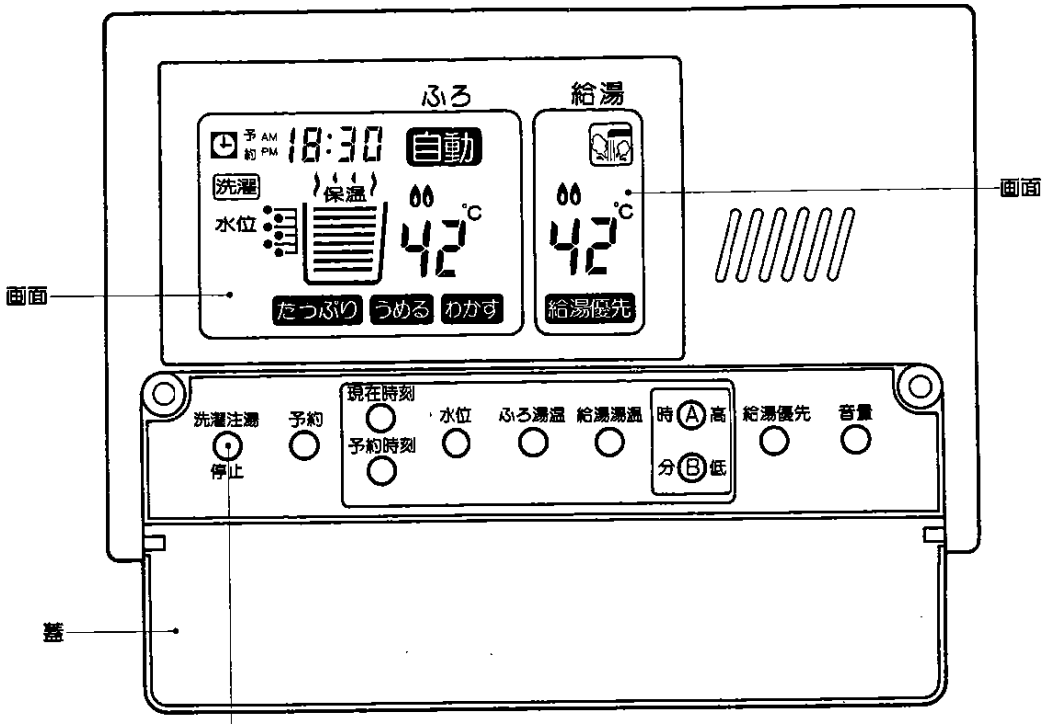


「運転ランプ点滅中は洗濯できません。」

洗濯注湯リモコンの運転ランプ点滅中は、洗濯(注湯)ができないことのお知らせです。運転ランプが点灯していることを確認してからご使用ください。
(運転ランプ点滅については20ページをご覧ください。)

■風呂リモコン

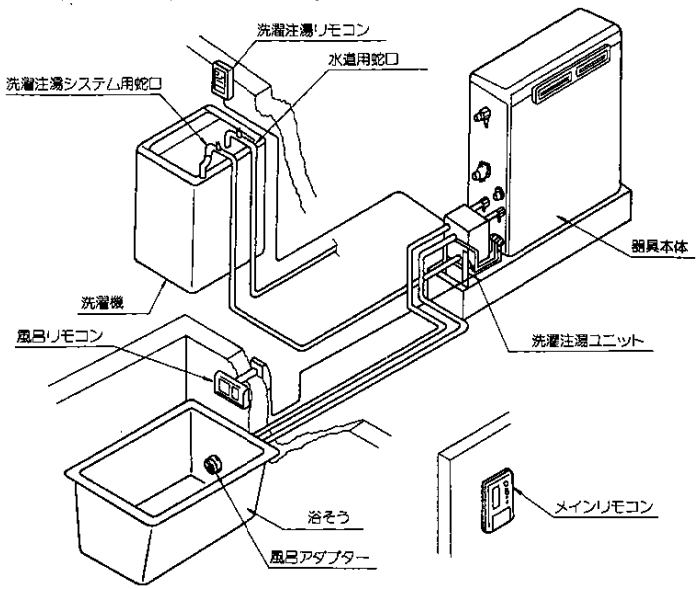
- 蓋を開けた状態
- 洗濯注湯システムを取付けた時だけ「洗濯注湯／停止」スイッチが使用できます。



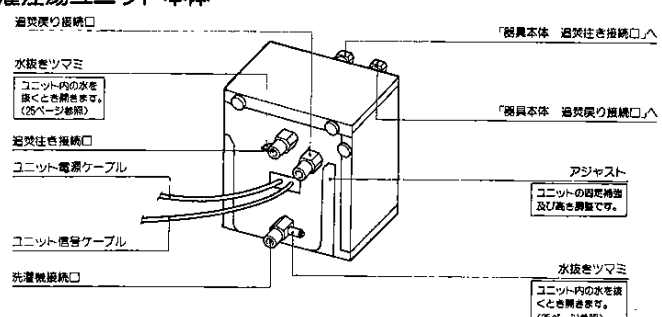
再度ご使用になる場合は、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチをいったん「切」にして、もう一度「入」にしてからお使いください。(P20)

（器具本体の各部の名称につきましては、器具本体の取扱説明書をご覧になってください。）

■ガス風呂給湯器(全自動タイプ)＋洗濯注湯システム図



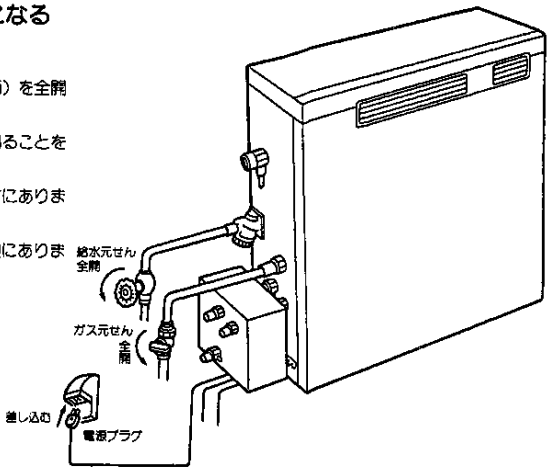
■洗濯注湯ユニット本体



初めてお使いいただくときに

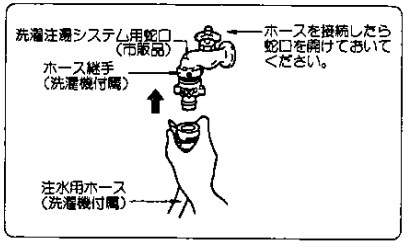
1 初めてお使いになるときはまず…

(1)給水元せん（器具の側面）を全開にします。
(2)給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます。
(3)ガス元せん（器具の側方にあります）を全開にします。
(4)電源プラグ（器具の周辺にあります）を差し込みます。

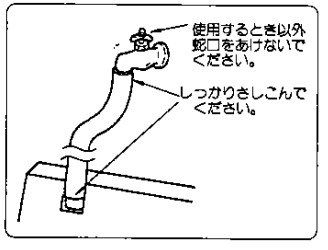


2 洗濯注湯システム用蛇口に洗濯機注水ホースを接続します。

●全自動洗濯機、止水機能付二槽式洗濯機の場合



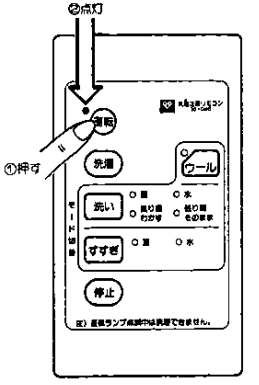
●二槽式洗濯機の場合

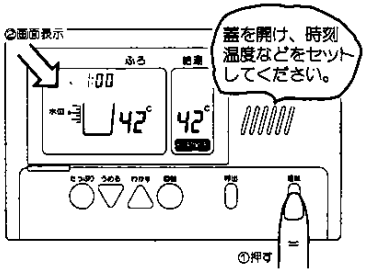


3 洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチ(ピンク)を押し「入」にします。

●風呂リモコンのみ「音声ガイド」が2回流れます。

この音声ガイドは、電源を入れたときや停電復帰後など5分以上通電が止まった後、はじめて「運転」スイッチを押したときだけ流れます。





●お買い上げいただいた時には、湯温を42℃に設定してあります。

ご注意
●洗濯注湯リモコンは器具本体のリモコンと連動していますので、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを「切」にすると給湯やお風呂わかしの運転も停止します。

使用方法・洗濯注湯

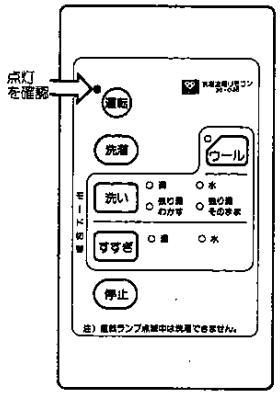
- 最初に電源を入れたとき、初期のモード設定は「洗い」が湯、「すすぎ」が水になります。
- お風呂運転中(運転ランプ点滅中)は使用できません。
- 洗濯注湯リモコンは器具本体のリモコンと連動していますので、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを「切」にすると給湯やお風呂わかしの運転も停止します。

1 洗濯注湯リモコンの 運転ランプが点灯しているか確認します。

運転ランプ(ピンク)が点灯していない場合は

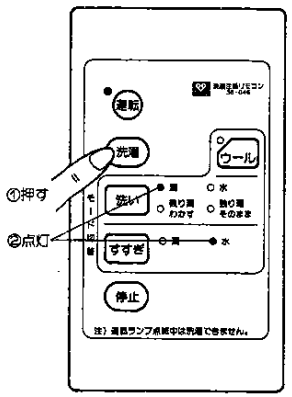
- 「運転」スイッチを押します。
- 運転ランプ(ピンク)が点灯します。

運転ランプが点滅している場合は、20ページをご覧になって、運転ランプを点灯させてください。(または、点灯に変わるまでおまちください。)



2 洗濯注湯リモコンの 「洗濯」スイッチを押します。

- 洗いモードランプの「湯」、すすぎモードランプの「水」が点灯します。

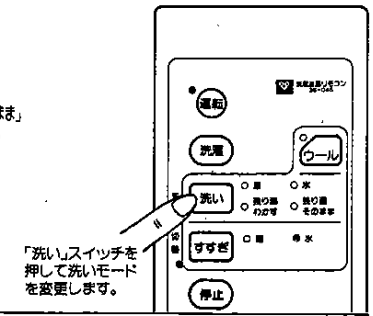


3 洗濯注湯リモコンの 「洗い」モードを設定します。

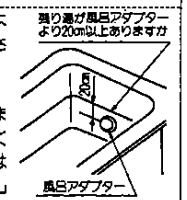
- 「洗い」スイッチを押すごとに

「湯」 → 「水」 →「残り湯わかす」→「残り湯そのまま」
(ランプ赤色) (ランプ緑色) (ランプ赤色) (ランプ緑色)
↑ の順で切替わります。

- 2回目以降は設定が記憶されますので、セットする必要はありません。



モード	特　徴	ご 注 意
湯	●約38℃のお湯が注湯されます。	●シャワー、台所などでたくさんお湯を使用しますと、洗濯注湯量が少なくなり、水が注水される場合があります。 ●洗濯運転中に給湯せんを使用すると、風呂リモコンの設定給湯湯温のお湯が出ない場合があります。 風呂リモコンの設定給湯湯温 / 給湯せんの給湯湯温 / 洗濯注湯湯温 45℃以上 / 45℃ / 45℃ 45℃未満 / 風呂リモコンの設定給湯湯温
水	●水道水が注水されます。	
残り湯わかす	●残り湯を約38℃にわかして注湯します。 ●残り湯がない場合は自動的に「湯」に変更されます。	●残り湯が35℃以上の場合は、残り湯をわかしません。 ●残り湯の温度が低い場合、お湯の温度が38℃にならない場合があります。
残り湯そのまま	●浴そうの残り湯が注水されます。 ●残り湯がない場合は自動的に「水」に変更されます。	●浴そうの残り湯が循環金具中心より20cm以上あるか確認してください。 ●風呂アダプターのフィルターや、洗濯機の水入口フィルターがつまり、残り湯注湯量が極端に少なくなった場合も、「残り湯わかす」は「湯」に、「残り湯そのまま」は「水」に変更されます。(フィルターのそうじを行なってください) ●残り湯を使用した場合、「湯」または「水」で選択した時よりも、満水になるまで時間がかかります。(容量5kg用洗濯機の標準水位(約50ℓ)では、満水まで約9分かかります。)

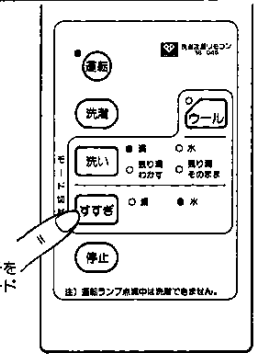


4 洗濯注湯リモコンの「すすぎ」モードを設定します。

●「すすぎ」スイッチを押すごとに

「湯」 → 「水」
（ランプ赤色）（ランプ緑色）
↑
の順で切替わります。

●2回目以降は設定が記憶されますので、セットする必要はありません。



モード	特　徴	ご　注　意
湯	●約38℃のお湯が注湯されます。	●シャワー、台所などでたくさんお湯を使用しますと、洗濯注湯量が少なくなり、水が注水される場合があります。 ●洗濯運転中に給湯せんを使用すると、風呂リモコンの設定給湯湯温のお湯が出ない場合があります。
水	●水道水が注水されます。	

風呂リモコンの設定給湯湯温	給湯せんの給湯湯温	洗濯注湯湯温
45℃以上	45℃	45℃
45℃未満	風呂リモコンの設定給湯湯温	

5 洗濯機をスタートさせます。

■全自動洗濯機、(止水機能付二槽式洗濯機)をご使用の場合は……

●洗濯機に表示される洗濯終了までの残り時間は、あくまでも目安です。実際の時間とは異なります。
●洗い時間が3分以内ですと、「洗い」モードから、「すすぎ」モードへ移行しません。

1.自動的に注湯をはじめます。
2.「洗い」モード、「すすぎ」モードの順に自動的にモードが切替わります。
●ランプが点滅して、運転状態をお知らせします。
3.「すすぎ」モード終了後約15分で自動停止となります。
●運転ランプのみの点灯になります。

■二槽式洗濯機ご使用の場合は……

●自動的に注水、止水はできません。洗濯注湯システム用蛇口の開け閉めが必要です。
●洗い時間が3分以内ですと、次にすすぎをするときに蛇口を開けても、「すすぎ」モードで選んだ湯(水)に切替わりません。

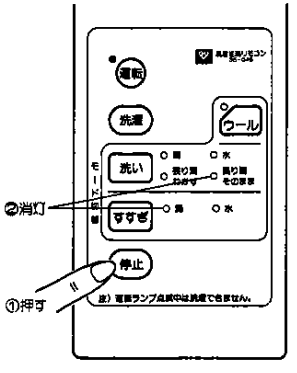
1.洗濯注湯システム用蛇口を開けます。
●「洗い」モードで注水が始まり、「洗い」モードランプが点滅に変わります。
2.ご希望の水位で蛇口を閉めます。
3.洗濯をします。(洗濯機をまわします。)
4.次にすすぎをします。(洗濯注湯システム用蛇口を開けます。)
●「すすぎ」モードで注水が始まり、「すすぎ」モードランプが点滅に変わります。
5.すすぎが終了したら蛇口を閉めます。
6.約15分後、洗濯注湯リモコンは自動停止し、運転ランプのみの点灯になります。

ご注意
●洗濯機をスタートさせてから、または蛇口を開けてから注水が始まるまでに70秒ぐらいかかることがありますが異常ではありません。
●「運転」スイッチを切る必要はありません。「運転」スイッチを切ると、給湯やお風呂わかしができなくなります。
●ご使用の前に洗濯機の取扱説明書もお読みください。

6 洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチを押します。

すすぎモード終了後約15分で自動停止となりますが、「停止」スイッチを押しても、運転が停止します。
●運転ランプのみの点灯になります。

●すぐにあついお湯を使いたい、お風呂わかしをしたい、ときなどに押してください。



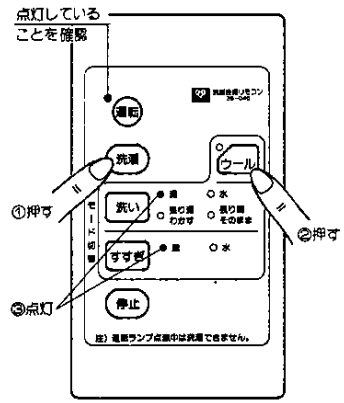
「ウール」洗濯モード

「ウール」洗濯モードとは…
- ウールまたはランジェリーなどを洗濯機で洗うときに、この「ウール」洗濯モードで「ウール」洗いをします。
- 「ウール」洗濯モードでは、約30℃のぬるま湯で洗い、すすぎをします。

〈ウール洗いをする前のご注意〉
- ウール洗いをする場合、洗濯機の取扱説明書をお読みください。
  1. 洗濯できる衣類の種類を確認してください。
  2. 衣類による洗濯機の洗濯コースを確認してください。
  3. 洗濯機に衣類と合った洗濯コースがない場合は、ウール洗いはおやめください。
- 洗剤は洗濯物の絵表示に示されている洗剤をお使いください。

■「ウール」洗いをしたときは

1. 運転ランプが点灯していることを確認します。
   - 点灯していない場合は、「運転」スイッチを押します。
2. 「洗濯」スイッチを押します。
3. 「ウール洗濯モード切替」スイッチを押します。
   - ウールランプ(赤色)が点灯し、洗いモードランプは「湯」(赤色)すすぎモードランプは「湯」(赤色)が点灯します。
4. 洗濯機をスタートさせます。
   (15・16ページ参照)



ご注意
- 「ウール」洗い中は、「洗い」スイッチ、「すすぎ」スイッチは受けつけません。
- 「ウール」洗い中に給湯せんを開けますと、洗濯運転が停止し、運転ランプが点滅します。「ウール」洗い中は絶対に給湯せんを開けないでください。(P20参照)
- 「ウール」洗い中は、器具本体の「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」運転はできません。「ウール」洗い中の入浴はさけてください。

その他の操作について

■洗濯運転を途中でとめたいときは

1. 洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチを押すか、風呂リモコンの蓋を開け「洗濯注湯／停止」スイッチを押してください。
   - 洗いモードランプ・すすぎモードランプが消灯します。
   - 風呂リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチで停止させた場合は洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅します。
2. 洗濯を再び行なう場合は、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点灯しているのを確認して、「洗濯」スイッチを押してください。(運転ランプの点滅についてはP20参照)
   - 洗濯注湯リモコンは「洗い」モードから始まります。
   - 洗濯機を再スタートさせてください。

ご注意
- 洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合洗濯機も再スタートさせてください。

■一度選んだ「洗い」モード、「すすぎ」モードを途中で変えたいときは

- 洗濯運転中でも、「洗い」スイッチ、「すすぎ」スイッチを押せば、モードは切替えられます。

■「洗い」を2回おこないたいときは

- 洗濯液を2度使う場合には、洗濯機の取扱説明書をよくお読みください。
- 1回目は汚れの少ないものを洗いますと洗剤を補充しなくてすみます。

1. 洗濯機に洗剤と1回目の洗濯物を入れ、取扱説明書の13ページに従って洗濯します。
2. 洗い終わりましたら、1回目の洗濯物を取り出し、2回目の洗濯物を入れます。
3. 「洗濯」スイッチを押します。
   - この場合、「洗い」「すすぎ」モードで使用する水の種類は、1回目と同じになります。変更する場合は、14・15ページをご覧ください。
4. 洗濯機をスタートさせます。
5. 脱水(二槽式の場合すすぎ)が終わりましたら、1回目の洗濯物を入れ、すすぎから始めてください。

■洗濯の予約運転を行なうときは

●全自動洗濯機などの予約洗濯を行う場合、洗濯注湯リモコンの操作は変わりませんが、次のように操作してください。

1.洗濯機の予約操作を行ないます。
2.洗濯注湯リモコンの「洗濯」スイッチを押します。
3.「洗い」モードを「湯」または「水」に選択してください。
　●「残り湯わかす」「残り湯そのまま」を選択された場合でも、「残り湯わかす」は「湯」に、「残り湯そのまま」は「水」に自動的にセットされます。

ご注意

●洗濯機の予約中に外気温が低くなり、器具本体の凍結予防が作動しますと、洗濯注湯リモコンが停止して、運転ランプが点滅し洗濯できなくなります。(P20参照)
●冬期凍結のおそれがあるときに洗濯機の予約運転をおこなう場合は洗濯注湯システム用以外の蛇口を利用してください。

■洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅している場合

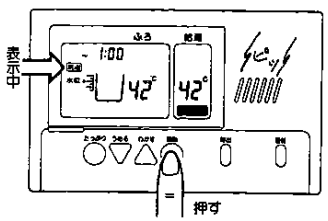
(洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅中は洗濯注湯リモコンが使用できません)

このようなときには運転ランプが点滅します。	処　置
器具本体が、「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」運転中。	器具本体の「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」運転終了までお待ちください。運転終了後に洗濯注湯リモコンの運転ランプは点滅から点灯にかわります。
風呂リモコンから「洗濯注湯/停止」スイッチを押して、洗濯運転を止めた場合	洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを押して運転「切」にします。再度「運転」スイッチを押して運転「入」にします。「洗い」モードから始まりますので、洗濯機も再スタートさせてください。
器具本体が凍結予防運転中。	浴そうの残り湯を排水してください。 およそ15分後に洗濯注湯リモコンの運転ランプは点滅から点灯にかわります。
「ウール」使用中に給湯せんを使用した場合。	給湯せんを閉め、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを押して運転「切」にします。再度「運転」スイッチを押してから「ウール」モードを選択します。「洗い」モードから始まりますので、洗濯機も再スタートさせてください。
器具本体または洗濯注湯ユニットの故障。(風呂またはメインリモコンの画面にアラーム表示がされます。)	28ページの「故障かな?と思ったら」の項目をお読みになって、お買い求めの販売店または大阪ガス支社に修理を依頼してください。

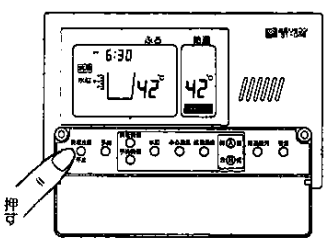
使用方法・風呂リモコン

■洗濯運転中に器具本体の「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」運転を行ないたいときは……

洗濯運転中(風呂リモコンに 洗濯 が表示されます)は「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」スイッチを押しても、それぞれの運転は行ないません。
- 風呂リモコンのスイッチを押すと「ピッ」音が5回鳴ります。



- 洗濯運転終了後、「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」運転を行なってください。
- 風呂リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチ、(または洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチ) を押し洗濯運転を停止してからそれぞれの運転を行なってください。
  1. 風呂リモコンの蓋を開け「洗濯注湯／停止」スイッチを押します。
     - 洗濯 表示が消え、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し、洗濯注湯が停止します。
  2. 風呂リモコンの「自動」「わかす」「うめる」「たっぷり」スイッチを押してください。
  3. その後再び洗濯を行なう場合は、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを一度「切」にして、再度「運転」スイッチを「入」にしてから「洗濯」スイッチを押してください。
- 洗濯注湯リモコンは「洗い」モードから始まります。
- 洗濯機を再スタートさせてください。



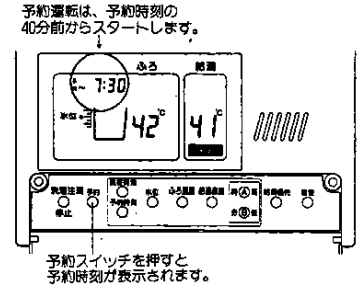
ご注意
- 洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合洗濯機も再スタートさせてください。

■お風呂の予約運転を行なうときは

洗濯運転中(風呂リモコンに 洗濯 が表示)は、お風呂の予約はできません。
- 「予約」スイッチを押すと警告音「ピッ」音が5回鳴ります。

- 洗濯運転終了後、お風呂の予約を行なってください。
- 風呂リモコンの「洗濯注湯／停止」スイッチ(または洗濯注湯リモコンの「停止」スイッチ)を押し洗濯運転を停止してから、お風呂の予約を行なってください。
  1. 風呂リモコンの蓋を開け「洗濯注湯／停止」スイッチを押してください。
     - 洗濯 表示が消え、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し、洗濯注湯が停止します。
  2. 風呂リモコンの「予約」スイッチを押し、予約運転を行ないます。

- 洗濯運転中に予約運転がスタートすると、洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し、洗濯注湯が停止します。予約運転を行なう場合は洗濯運転と時間が重ならないように1時間以上予約時刻をずらしてセットしてください。



  3. その後再び洗濯を行なう場合は、洗濯注湯リモコンの「運転」スイッチを一度「切」にして、再度「運転」スイッチを「入」にしてから「洗濯」スイッチを押してください。
- 洗濯注湯リモコンは「洗い」モードから始まります。
- 洗濯機を再スタートさせてください。

ご注意
- 洗濯機によっては断水アラームになるものもあります。この場合洗濯機も再スタートさせてください。

使用方法・凍結予防方法

冬季の凍結による破損予防の方法は

- 器具が凍結すると、給湯ができないばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
- この器具の凍結予防方法は次の３つのケースでやり方が変わります。
  ①凍結予防装置による方法
  ②水を流す方法
  ③器具の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

① 凍結予防装置による方法

- 洗濯注湯ユニットには、気温がさがってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターがついています。また器具本体には、気温がさがってくると自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターと自動的に浴そうの水(湯)を循環して器具内や追焚配管の凍結を予防する自動凍結予防装置がついています。通常は器具の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、器具内の凍結は予防できます。
- 自動凍結予防装置は「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。
- 浴そうの残り湯はすてないで、そのままにしておいてください。

ご注意
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
  抜けていると凍結予防装置が作動しませんのでご注意してください。

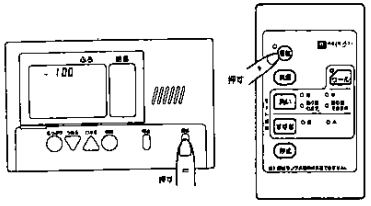
ご注意
- 凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温マイナス15℃程度までですので特に寒い時や急な寒波などが予想されるときは、はやめに「水を流す方法」「器具の水を抜く方法」による凍結予防の処置を行ってください。
- 器具内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

② 水を流す方法

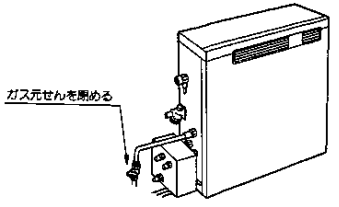
- この場合は、器具本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

■給湯側の凍結予防

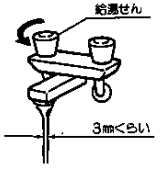
①「運転」スイッチを「切」にします。



②ガス元せんを閉めます。



③浴室の給湯せんを開け、１分間に約200cc（牛乳ビン1本ぐらい）を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



■ふろ側の凍結予防

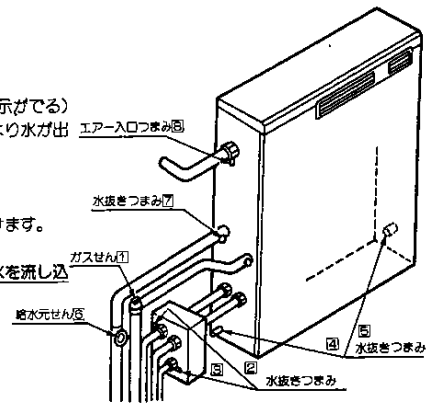
- この器具には外気温が下がってくると自動的にポンプが運転して、凍結を予防する装置を組み込んでいます。
- この場合配管の凍結予防のため洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し洗濯注湯用の蛇口は使用できませんので洗濯注湯システム用蛇口以外の蛇口を利用してください。
- 浴そうの残り湯は捨てないで、そのままにしておいてください。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
  抜けていると凍結予防装置が作動しませんのでご注意してください。

3 器具の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合)

●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。
ふろ側から先に水抜きを行ないます。

■ふろ側

①浴そうの水を排水します。
②リモコンの「運転」スイッチを押し(画面に表示がでる)「わかす」スイッチを押し、風呂アダプターより水が出ることを確認して5分程そのままにします。
③上記の排水の完了を確認します。
④ガスせん①をしめます。
⑤洗濯注湯ユニットの水抜きつまみ②③をあけます。
器具本体の水抜きつまみ④⑤をあけます。
※ふろ側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流し込まないでください。



■給湯側

①リモコンの「運転」スイッチを「切」にします。
②ガスせん①をしめてあるのを確認します。
③給水元せん⑧をしめます。
④すべての給湯せんを全開にします。
⑤水抜きつまみ⑦を左にまわしてはずします。
⑥エアー入口つまみ⑥を左にまわしてあけます。
⑦「運転」スイッチ、「自動」スイッチを「入」にし、約1分後「自動」スイッチを「切」にします。
⑧電源プラグを抜きます。
●以上の操作で器具内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
⑨器具を使用するときは逆の順序で行ないます。
給水元せんを開き、水漏れがないか確認してください。

凍結したときは

●凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと器具に異常が生じる場合があります。「運転」スイッチを「切」の状態で給湯せんを開けて水が出てくればご使用になれます。
●通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
●器具や配管が破損しますと高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検・お手入れ

●点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行ってください。
●お手入れの前にはガス元せんを閉め、電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。
●器具の前板をはずさないでください。(器具およびリモコンは絶対に分解しないでください。)

●点　検

●器具および配管より水漏れはありませんか。
●運転中に器具から異常音が聞えませんか。
●器具の外観に異常は見られませんか。
●器具のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。
●給湯せんの先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

●お 手 入 れ

●本体が汚れたとき

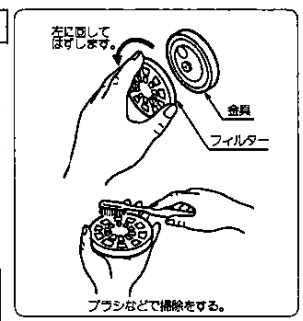
布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。
ベンジン、シンナーなどではふかないでください。

●リモコンが汚れたとき

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。
洗剤、ベンジン、シンナーなどではふかないでください。
(注) メインリモコン・洗濯注湯リモコンには水をかけないでください。(風呂リモコンは防水タイプです。)

●風呂アダプターのフィルター洗浄について

●浴そうをおそうじするときはフィルターもそうじしてください。フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。フィルターの汚れがひどいと循環量が弱まったり、ひどいときには追焚きもできなくなります。また洗濯注湯量が少なくなることもあります。
●フィルターはネジ式で固定されており、左に回せばはずせます。



フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターをつけないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。

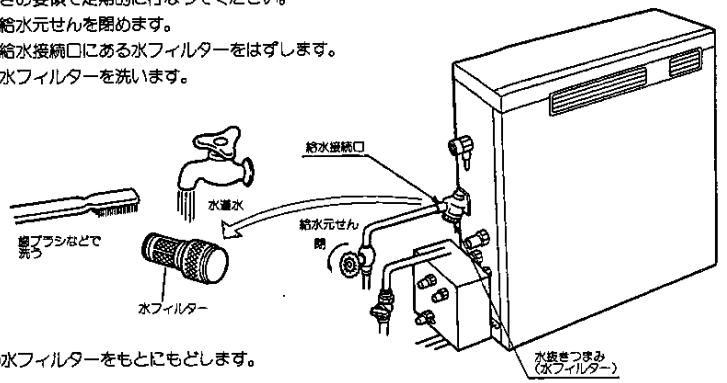
●給水側水フィルターのお手入れは

つぎの要領で定期的に行なってください。

(1)給水元せんを閉めます。

(2)給水接続口にある水フィルターをはずします。

(3)水フィルターを洗います。



(4)水フィルターをもとにもどします。

●点検・お手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、ガス元せんを開いて、「運転」スイッチを「入」にして給湯せんを開き、器具が正常に作動していることを確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス元せんを閉めてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

●定期点検のおすすめ

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

●ふろがまが古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元せんを閉めてお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

一度確認してください。

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止され、十分な点検をしてください。

現　象	点検項目	
画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	(11ページ)
	停電していませんか	(5ページ)
アラーム番号「032」が点滅(メインリモコンは「風呂燃焼ランプ」が点滅)し、動作しない	給水元せんが全開になっていますか	(11ページ)
	断水していませんか	
	お風呂の排水せんはしっかりはまっていますか	
「給湯燃焼表示」(ôô)、「給湯燃焼ランプ」が点灯しない お湯が出ない	ガスせんが全開になっていますか	(11ページ)
	給水元せんが全開になっていますか	(11ページ)
	断水していませんか	
	給湯せんが十分開いていますか	
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯せんが十分開いていますか	
	湯温調節は適切ですか	
	「洗濯注湯」運転中ではありませんか。	(14・15ページ)
「風呂燃焼表示」(ôô)、「風呂燃焼ランプ」が点灯しない	ガスせんが全開になっていますか	(11ページ)
	浴そうに水が入っていますか	
お風呂使用中に消火した	ガスせんが全開になっていますか	(11ページ)
浴そうの水があつい(ぬるい)	風呂湯温のセットは適切ですか	
浴そうの水が少ない(多い)	お湯入れ量のセットは適切ですか	
「風呂燃焼表示」(ôô)、「風呂燃焼ランプ」がときどき点灯する。	「洗濯注湯」(残り湯わかす)運転中ではありませんか。 風呂燃焼をON・OFFさせて残り湯をわかします。	
洗濯注湯リモコンの運転ランプが点滅し、動作しない。	「自動」「わかす」「たっぷり」「うめる」運転中ではありませんか。	(20ページ)
	凍結予防運転中ではありませんか。	

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「風呂リモコンにアラーム番号が表示されたとき」(29ページ)の項目を参照してください。

故障かな?と思ったら

風呂リモコンにアラーム番号が表示されたとき

- この器具の風呂リモコンには自己判断機能がついています。器具が故障するとその故障原因に応じてリモコンの画面にアラーム番号が表示・点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号を表示・点滅したときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社に修理を依頼してください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。

（例） 12:15（時計表示）→ 111（アラーム表示）

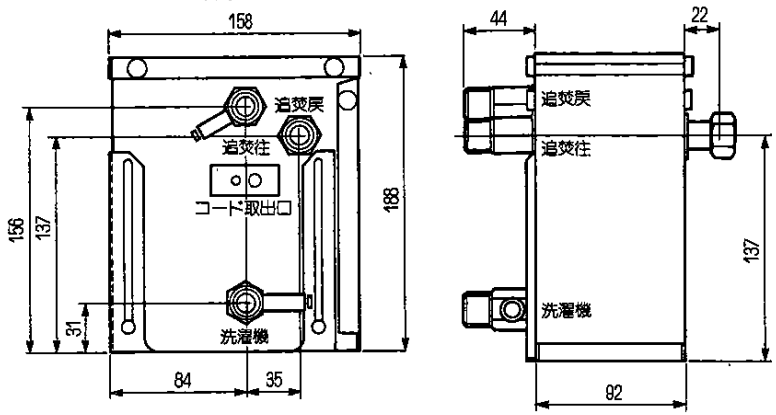
アラームNo.	内　容	処　置　方　法	使　用　状　態
111	給湯側点火不良	ガスせん確認後リセット操作※	給湯・自動・たっぷり
112	ふろ側点火不良	ガスせん確認後リセット操作※	自動・わかす
121	給湯側失火	修理を依頼する	給湯・自動・たっぷり
122	ふろ側失火		自動・わかす
140	空だき安全装置作動、電磁弁OFF		給湯・自動・たっぷり・わかす
451	給湯ファン回転異常		給湯・自動・たっぷり・わかす
452	ふろファン回転異常		給湯・自動・たっぷり・わかす
711	給湯電磁弁回路不良		給湯・自動
712	風呂電磁弁回路不良		自動・わかす
721	給湯側プリ・ポスト不良		給湯・自動・たっぷり
722	ふろ側プリ・ポスト不良		自動・わかす
032	注湯時間異常	お風呂の排水せんを確認後リセット※	自動・わかす
252	ふろ水流SW異常	修理を依頼する	自動・わかす
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・自動・たっぷり
312	ふろサーミスタ断線		自動・わかす
321	入水温サーミスタ断線		給湯・自動・たっぷり
331	温合温サーミスタ断線		給湯・自動・たっぷり
432	水位センサー異常		自動
542	ふろエアーパージ時間異常		自動
651	ミキシング弁異常		給湯・自動・たっぷり
505	36-046三方弁の故障	修理を依頼する	洗濯・自動・たっぷり・わかす
505	36-046水量センサーの故障		洗濯
755	36-046送受信不能		洗濯

※リセット操作：運転スイッチを一度「切」にし、再度運転スイッチを「入」にする。

寸法図

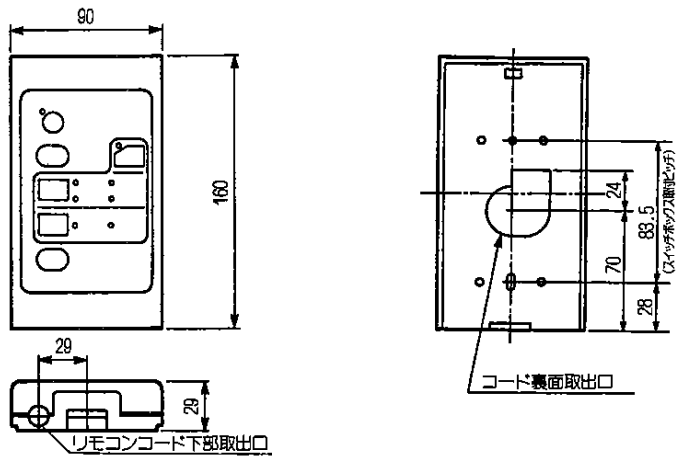
■洗濯注湯ユニット

（単位：mm）



■洗濯注湯リモコン

（単位：mm）



仕様

品名			36-046型
型式名			TP-RV21
外形寸法(mm)			幅92×奥行158×高さ188
材質	本体外装／塗装		溶融亜鉛メッキ鋼板／溶剤焼付塗装
接続	給湯器接続往・戻		15A（G1/2）メネジ
	追いだき往・戻		15A（R1/2）オネジ
	洗濯機（接続口）		15A（R1/2）オネジ
電気関係	電源		AC100V（60Hz）
	リモコン側		24V以下
	消費電力	無負荷時	8W
		凍結予防時	48W
	電源コード		VCT（2芯）2.0m
安全装置			凍結予防装置（電気ヒーター）

保管とアフターサービス

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

(1)ガスの元せんを閉じる。
(2)給水元せんを閉じる。
(3)電源プラグを抜く。
(4)器具の水抜きを行なう。（水抜き方法は25ページを参照してください。）

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

1．ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2．品名……36-046型（右のようなラベルを器具の前面部に貼付けてあります。）
3．現象……できるだけ詳しく
4．訪問ご希望日

(4)36-046
大阪ガス株式会社

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

●この洗濯注湯システムには保証書がついています。
●保証書に記載のように、洗濯注湯システムの故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後7年です。
その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。